

法寿苑だより 冬

No.19 2012年1月10日



年頭の挨拶

施設長 山口卓哉

新年明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、今年は三年に一度の介護報酬改定の年であります。在宅・施設サービスともに大きく報酬・基準の見直しが予定されています。当然、現在の日本が置かれている厳しい社会経済状況や東日本大震災の影響など介護保険制度を取り巻く環境にも配慮したものが求められます。しかし、どのような改定であろうとも高齢者の「尊厳保持」、「自立支援」という介護保険制度の基本理念が一層追求され、質の高いサービスが提供されなければなりません。施設運営においても法令を順守し、「ご利用者の安全・安心を提供すること」が一番の使命と考えます。

昨年の「法寿苑だより冬号」でも書かせていただきましたが、高齢者福祉施設には「ホスピタリティ」、「おもてなしの心」がとても重要です。つまり、常に相手の立場にたつて物事を考えるということが必要です。

「お客様の立場にたつて、お客様の求めることを実現しましょう」ほとんどすべての企業では、このような方針やスローガンを掲げています。しかし、なかなか実践には至りません。福祉施設も同様です。なぜでしょうか？

それは、「お客様の立場にたつ」ということの意味が共有化されていないからではないでしょうか。単に、「お年寄りには親切にする」、「新しい設備や介護機器を導入する」という考えだけではいけません。中には「私は介護の資格を持っているから大丈夫」、「インターネッツや色々な専門誌を読んで勉強しているから何でも知っています」

と自分に驕りがある人もいます。

お客様の立場にたつ、とは「当事者意識をもって当事者（お客様）の観点で物事を考える」ことが一番重要です。お客様の視点で施設を見たときに何をどう感じるのか。その感じたことを、我々はどう実行に移すのか…。実行しなければ何も変わりません。我々人間は、頭で考えたことを実行に移すのが苦手な動物です。私をはじめ、職員全員が常にご利用者・ご家族の立場に立ち、ご利用者・ご家族の観点で物事を考え、それを行動に移していくことが大切です。そして、法寿苑のサービスを受けている全てのご利用者に「幸福な時間」を過ごしていただけるよう努力を怠らないようにしたいと思います。

昨年末には法寿苑の提供しているサービスについて満足度アンケート調査を実施いたしました。お忙しい中、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。詳細につきましては、次号の「法寿苑だより」に掲載予定ですが、皆様から頂いた貴重なご意見は早急に取りまとめ、今後のサービス向上につなげていきたいと思っています。

法寿苑のコンセプトである「夢・いやし・やすらぎ」の空間であることを、すべてのご利用者に感じていただけますよう職員一丸となって努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



介護者のつどい・日帰り旅行

十一月十一日、「介護者のつどい（法人三施設合同）」で広島県の帝釈峡（たいしやくきょう）に行ってきました。三十一名の方にご参加いただき、当日の朝は雨模様で心配をしましたが現地まで移動する途中に雨はあがり晴れ間が見えるようになりました。

移動のバス内では認知症に関する知識を習得するためにDVDを視聴しました。現地に到着するとはじめに遊覧船に乗って上帝釈、上帝釈の景色を観覧し、昼食後は世界三大自然橋の雄橋や紅葉を見学しました。紅葉は十一月に入っても暖かい日が続いており全国的に遅れている状態で、帝釈峡も例外ではなく所々しか紅葉していない状態でしたが綺麗に赤く染まっている所もありリフレッシュができたように思います。



小学生の法寿苑訪問

【木太南小学校】

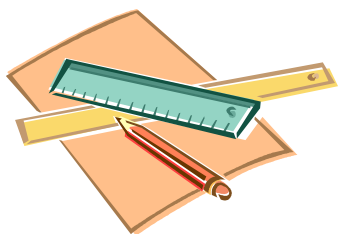
十月三十一日に木太南小学校五年生三十二名が当苑を訪問されました。利用者は児童たちと一緒にあやとりや折り紙に挑戦し、鶴や船を折り紙で作りました。また音楽に合わせてダンスを踊り、中には児童の間に入って楽しそうに元気よく踊っている利用者もいました。

【木太小学校】

十一月十八日に木太小学校五年生が当苑を見学されました。ユニットや浴室など実際に利用者が生活している場や、地域交流ルーム、医務室、デイサービスセンターなども熱心に見学されていました。

また十一月二十八日、二十九日、十二月二日には、それぞれ三十名程度の児童が訪問されユニット利用者とは交流しました。

紙芝居やなどなど、しりとりなどを行いました。などなどでは児童からの「なぞかけ」に対して利用者の珍回答が飛び出すなど大変楽しまれていました。



10月から12月の出来事

獅子舞

十月一日、秋祭りの忙しい中にもかかわらず法寿苑にて獅子舞を披露していただきました。躍動感ある舞に見学していた利用者も思わず息をのんで見入っていました。地域の皆様ありがとうございました。



フラダンス

十月六日、地域交流ルームにてレイ・ナニ様の訪問がありフラダンスを披露して頂きました。異国の情緒にふれ自然と体でリズムをとる利用者の楽しそうな笑顔をみる事ができました。



手作りおやつ

二十四番館では『大学イモ』を作りました。みんなで一緒に作った大学イモは外はカリッと中はホクホクでたいへん甘く格別な味でした。

また別のユニットでもホットケーキや白玉団子などいろいろなおやつ作りに挑戦しています。



外食

利用者にとって外出はとても楽しみなものです。朝から「どの服を着ていこうか」、「今日のお天気はどうか」などと心がそわそわしています。今日は大好きなうどんを食べに出かけました。さぬきうどんの特徴であるセルフサービスというシステムも、利用者にとっては楽しみの一つで、うどんを注文し、さまざまな天ぷらの中から食べたい天ぷらを選んでいました。出来立てをほおばると自然に表情もほころんできていました。

コスモス

十月二十三日、さぬき市のコスモス畑に行ってきました。

曇り空の中少し肌寒い気候でしたが、畑一面に咲き誇るコスモスは圧巻で寒さも忘れられるくらいでした。



菊花展

十一月七日からの六日間、デイサービスでは公園で開催されていた菊花展を見学してきました。色とりどりの大輪の菊の花や、見事な懸崖（けんがい）作りに「きれいやね」「上手に作つとるな」と感嘆の声も聞かれました。



さぬき学園祭

十一月五日にさぬき学園で行われた学園祭に行ってきました。職員はじめ子供たちや地域の方達の協力による手作りバザーを楽しませていただき、とても和やかな一日を過ごすことができました。

高松港

十一月十六日に外食を兼ね夫婦揃っての外出をしました。おいしいラーメンを食べしっかりと身体を温めた後はサンポート周辺を散策しました。丁度寄港していた海王丸を見ながら憩いのひとときを過ごしました。

コーラス隊

デイサービスルームに素晴らしい歌声が響きわたりました。十一月二十三日にアンダンテ様による「秋のミニコンサート」が開催されました。



クリスマス

十二月二十四日、ドリームベル様の訪問があり「赤鼻のトナカイ」や「きよしこの夜」、「故郷」などのベル演奏を披露していただきました。

その後、各ユニットではクリスマスケーキを食べ、クリスマスの雰囲気を楽しみました。



もちつき

十二月二十八日に餅つきを行いました。デイサービスや特養からたくさんの方々が参加されました。

「よいしょ」と大きな掛け声とともに餅をつく音が響き渡り、利用者や職員が愛情込めて包んだあん餅が出来上がると、一人ひとりにつきたてのお餅がふるまわれました。



22番館の生活風景

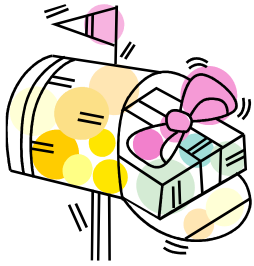
ひなたぼっこ

十月十八日、秋を感じる事ができる過ごしやすい季節になりました。この日は天気も良く利用者とテラスに出て日向ぼっこをしました。ぽかぽかと暖かな太陽の光を浴びながら気持ちよさそうにそれぞれの時間を過ごされていました。



誕生日会

十一月十五日は利用者の方の九十二歳になる誕生日でした。職員より誕生日プレゼントをいただき、たいへん喜んでおられました。プレゼントを開けてみると暖かそうな下着が入っていました。いつまでもお元気でいてください。



ユニット炊飯 手作りおやつ

ユニットでは利用者と協力しさまざまな料理やお菓子作りに挑戦してきました。これまでも、さぬきうどんや海鮮丼などの料理やドーナツ、どらやきなどのお菓子を作りました。



お歌披露

ユニットリビングより楽しそうな歌声が聞こえてきました。のぞいてみると利用者と職員と一緒に元気な声で歌っていました。歌うことが好きな方は普段よりカラオケのDVDを観たり、手拍子に合わせて歌を口ずさんだりされています。



秋の行楽

十月二十五日、利用者十名と職員九名で外出しました。善通寺では昼食にみんなうどん定食を食べ、その後は僧侶の案内のもと善通寺内を散策しました。歴史の趣にふれ大変興味深いお話を聞くことができました。参加した利用者からは「お参りができて本当によかった」と笑顔で話されていました。

たいへんお忙しい中、対応していただいた善通寺のみなさま誠にありがとうございました。



苦情受付状況

平成二十三年十月～十二月

介護方法に関する内容	0件
職員の対応に関する内容	2件
施設の対応に関する内容	1件
利用者との人間関係に関する内容	0件
入居中の医療に関する内容	0件

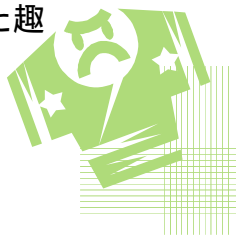
苦情・要望等のご意見がありましたら、各事業所の受付担当者（左記参照）までお電話でもお越しいただいても構いませんので、お気軽にご相談ください。

特別養護老人ホーム・ショートステイ	駒井 伸行	8	3	2	5	5	0	0
デイサービスセンター	和田 英幹	8	3	2	5	6	8	0
老人介護支援センター	芳竹 大輔	8	3	2	5	4	0	0
ホームヘルプサービス	堀 麗子	8	3	2	5	7	6	8

デイサービスセンター

月曜日から土曜日まで（祝日も営業）デイサービスを開所しております。見学等も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

アクティビティで多くの作品を作っています。レクリエーションもパワー全開で利用者に毎日楽しく過ごしていただけるよう援助サービスを提供しています。



デイサービスの日

- 8時30分・・・送迎
- 9時30分・・・湯茶接待、朝の挨拶、休憩
健康チェック、入浴、物療
- 12時・・・昼食
- 13時・・・休憩、物療
個別機能訓練
- 13時30分・・・アクティビティサービス
（カラオケ・体操・身体を動かすゲーム・手先を使った趣味運動・季節の行事）
- 15時30分・・・おやつ
- 15時50分・・・頭の体操
- 16時・・・帰りの挨拶、送迎

老人介護支援センター

- ・介護保険サービスのご相談。
- ・サービス計画（ケアプラン）の作成をいたします。
- ・介護を必要とされる方が、住み慣れた自宅で安心して生活していただけるようお手伝いいたします。

ホームヘルプサービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体面（入浴・オムツ交換）や生活面（掃除・洗濯・調理）等、身の周りのお世話をいたします。

訪問介護員（ヘルパー）募集

『明るく元気に』

一緒に働きましょう！

資格：ヘルパー2級以上

時給：身体介護 二〇〇〇円

生活援助 一六〇〇円

早朝・夜間・土日・祝日を中心に働ける方を募集しています。

【連絡先】（〇八七）八三一 五七六八

【担当】堀・天野

「寄付・慰問」

あたたかい御厚情のお礼申し上げます[平成二十三年十月～十二月]

順不同

《寄付物品》

東アキ様、宮井恵子様、小野田倭文子様、本田道明様、矢野照子様、野崎孝子様、浦田哲夫様、星加澄子様、岩瀬節子様、森田裕様、岩澤様、中塚孝様、土居好江様、中塚秀樹様、井口繁樹様、佐々木哲夫様、佐藤章代様、池内和代様、島本あさ子様、栄光寺池田宗弘様、尾山紀子様、佐伯典子様、滝川美子様、三角武様、アール・シー・エス様、タダノ産業(株)タダノケアサービス様、社会福祉法人 瑞祥会様、高橋知江子様、吉田カヨ子様、岩澤徳安様、品治千代子様、太田芳廣様、鎌田旭様、豊栄自動車(有)様、山本登美子様、中川忠土様、六車様、田中スエ子様、(有)カノークス藤井美香様、國方呉服店様、平田保二様、妻鹿ヒサノ様、総本山善通寺様、(株)トーカイ様、岩澤彌生様、東山直美様、村上静子様、すずらん調剤薬局様、柴村武様、実の里 完土剛様、管照雄様、(株)四国珈琲様、大川朝夫様、津田和美様

《寄付金》

荒木ツユコ様

《御慰問・御奉仕》

ボラえもん様、実里野会様、木太PTAコーラス アンダンテ様、ドリームベル様、津田和美様、古田裕子様、今田様、有馬様、ミエールメガネ様、レイ・ナニ様

個人情報保護の為、名称の公表を差し控えたい方がおられましたら、お申し出下さい。

「新春お楽しみ会のお知らせ」

平成二十四年一月二十四日から二十七日まで、デイサービスルームにて十三時半より毎年恒例となっている『新春お楽しみ会』を開催致します。歌あり演劇あり漫才ありと様々な催し物を行う予定となっております。

利用者のご家族やご近所の方など多数のお越しをお待ちしております。お気軽にご参加ください。

1月1日現在 特養の現状

	男性	女性	全体
入所者数(人)	11	39	50
平均介護度	3.00	3.56	3.44
平均年齢(歳)	81.5	86.8	85.6
最高齢(歳)	93	99	
最低齢(歳)	66	68	

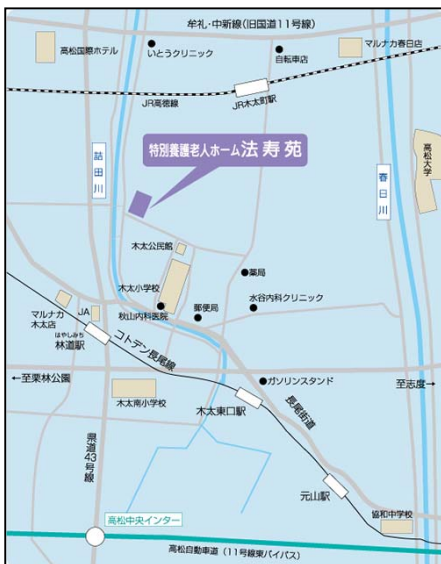
《配食ボランティアさん募集》

法寿苑では、木太地区の高齢者を対象に手作りのお弁当(昼食)をお届けしています。つきましてはお弁当配達のご協力をお願いしています。ご協力していただける方は下記までご連絡ください。

(配達希望日時)

月～土曜日(祝日は除く)の11:45～12:30の間で配達可能な方

問い合わせ：法寿苑老人介護支援センター TEL087-832-5400



特別養護老人ホーム 法寿苑

〒760-0080 高松市木太町7区3308番地

(代表) TEL: 087-832-5500

FAX: 087-832-5530

法寿苑デイサービスセンター

TEL: 087-832-5680

法寿苑老人介護支援センター

TEL: 087-832-5400

弘善会ヘルパーステーション

TEL: 087-832-5768

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp>

(弘善会ホームページよりお入りください)

E-mail houjiyuen@kouzenkai.jp